

Ⅲ 男女平等参画を推進する社会づくり

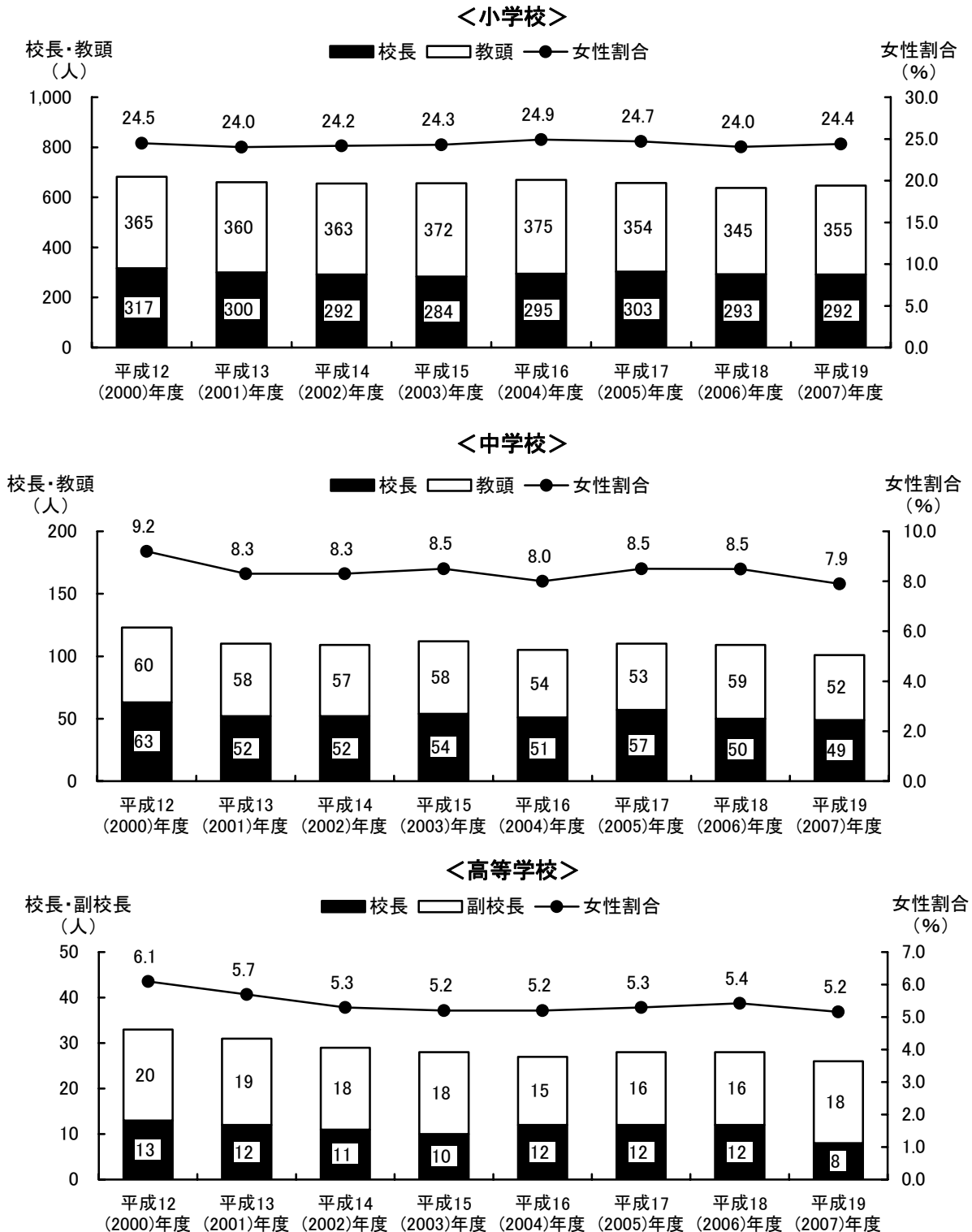
Ⅲ. 男女平等参画を推進する社会づくり

Ⅲ-1 教育・学習

1 管理職（校長・副校長・教頭）に占める女性の割合

平成19年度の都の校長・教頭(副校長)に占める女性の割合は、小学校が24.4%、中学校が7.9%。また、高等学校の校長・副校長に占める女性の割合は5.2%となっている。

図表 Ⅲ-1-1 管理職(校長・副校長・教頭)に占める女性の割合(都)



注1：高校は、全日制・定時制の合計数、各年5月1日現在。

注2：調査対象は公立の学校

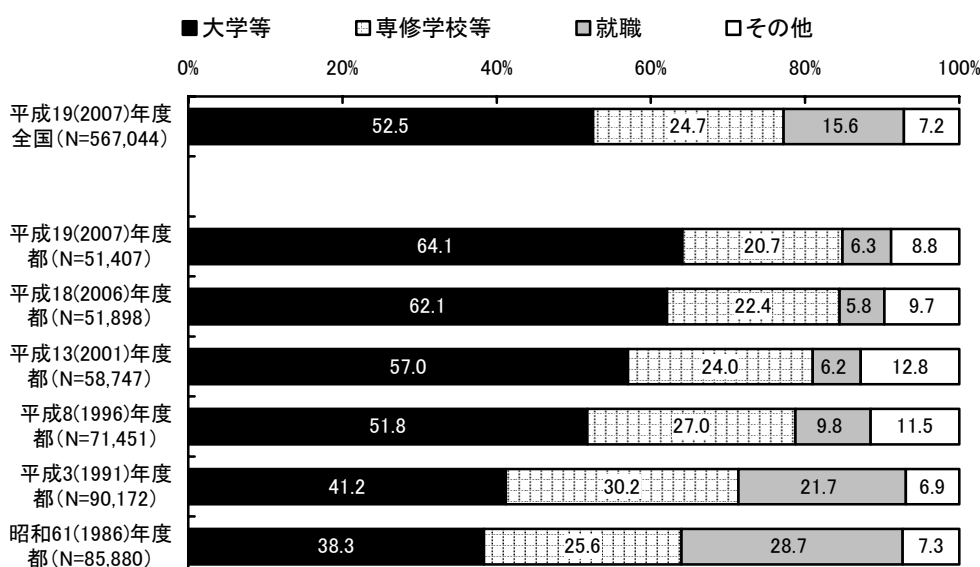
資料：東京都教育委員会「公立学校統計調査報告書・学校調査編」

2 高等学校卒業者の進路別構成比の推移

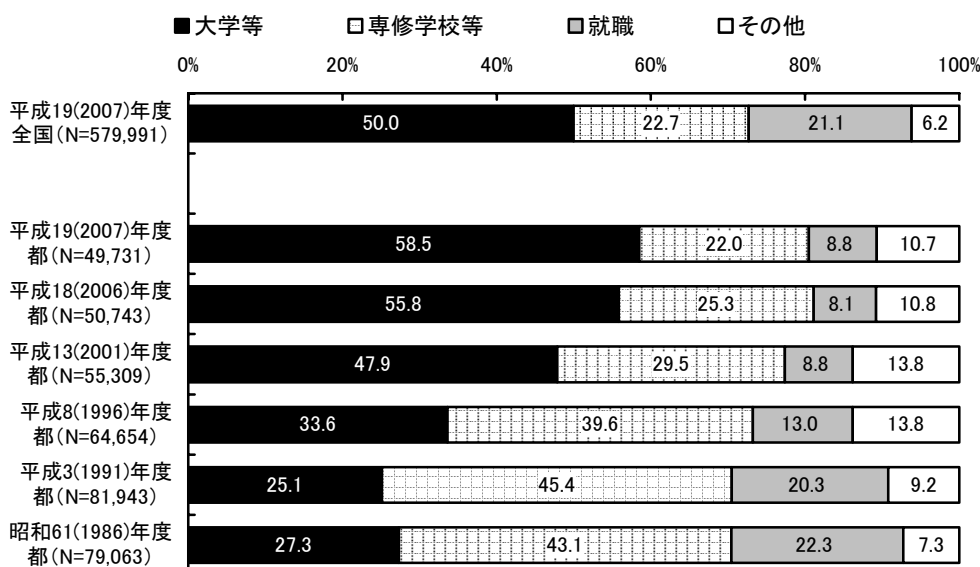
都の高等学校卒業者の進路の推移をみると、大学等への進学は増加傾向にある。平成19年度の大学等への進学は女子学生が64.1%と男子学生の58.5%を上回っている。また、全国に比べて都の方が男女とも大学等への進学率が高くなっている。

図表 Ⅲ-1-2 高等学校卒業者の進路別構成比の推移(都・全国)

<女子学生>



<男子学生>



注1：「大学等」は、大学学部、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部、大学・短期大学(別科)、高等学校等(専攻科)、特別支援学校高等部専攻科(平成18年度以前は、盲学校・聾学校及び養護学校の各高等部専攻科の合計値)へ進んだ者の合計。進学しかつ就職した者を含む。

注2：「専修学校等」は、専修学校(専門課程)、専修学校(一般課程)等、各種学校、公共職業能力開発施設等へ、進学・入学した者の合計。

注3：「就職」は、「大学等」「専修学校等」への進学・入学者を除く。

注4：「その他」は、「一時的な仕事に就いた者」、「死亡・不詳の者」、「家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又は各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかなる者」の合計

注5：各年度5月1日現在。平成19年度は速報値。

資料：東京都総務局「学校基本調査」

文部科学省「学校基本調査」

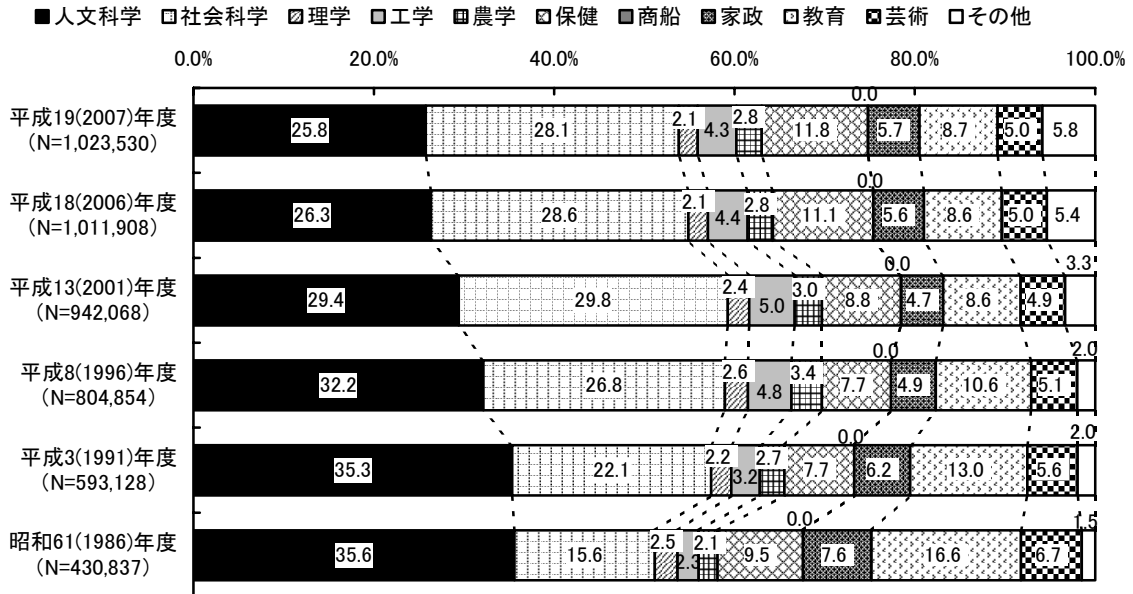
Ⅲ 男女平等参画を推進する社会づくり

3 大学生の学部別構成比

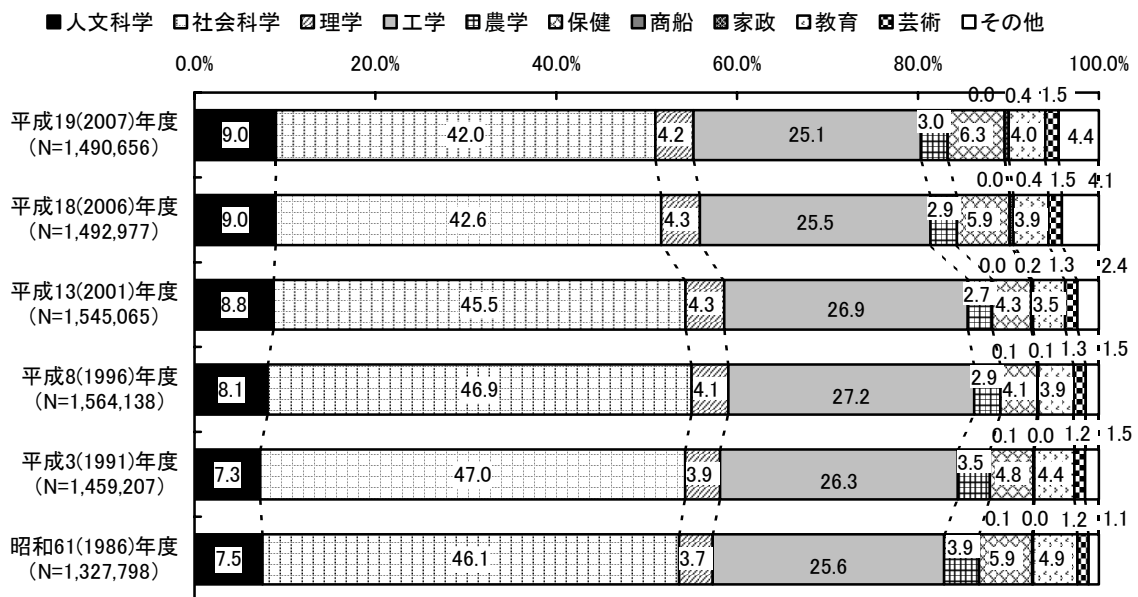
大学生の学部別構成比の推移をみると、女子学生では人文科学の割合が低下傾向にある反面、社会科学の割合が増加しており、平成19年度には社会科学が28.1%と最も多くなっている。男子学生にはあまり変化が見られず、平成19年度も社会科学が42.0%と最も多くなっている。

図表 Ⅲ-1-3 大学生の学部別構成比の推移(全国)

<女子学生>



<男子学生>



注1：平成19年度は速報値

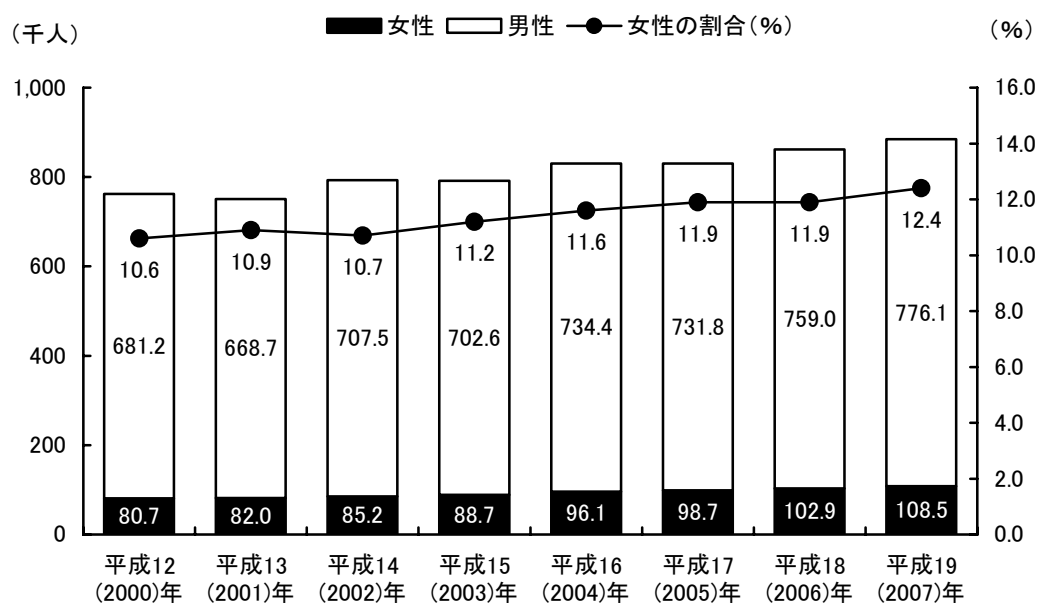
注2：学部学生を関係学科により分類、各年度5月1日現在。

資料：文部科学省「学校基本調査」

4 研究者に占める女性の割合

平成 19 年の、企業等、非営利団体・公的機関、大学等における研究者に占める女性の割合は 12.4% であるが、わずかに増加傾向がみられる。

図表 Ⅲ-1-4 研究者に占める女性の割合の推移(全国)



注 1 : 企業等、非営利団体・公的機関、大学等における研究関係従業者数（実数）のうち研究者の数
 研究者とは大学（短期大学を除く。）の課程を修了した者（又はこれと同等以上の専門的知識を有する者）で、特定の研究テーマをもって研究を行っている者をいう。

注 2 : 各年 3 月 31 日現在

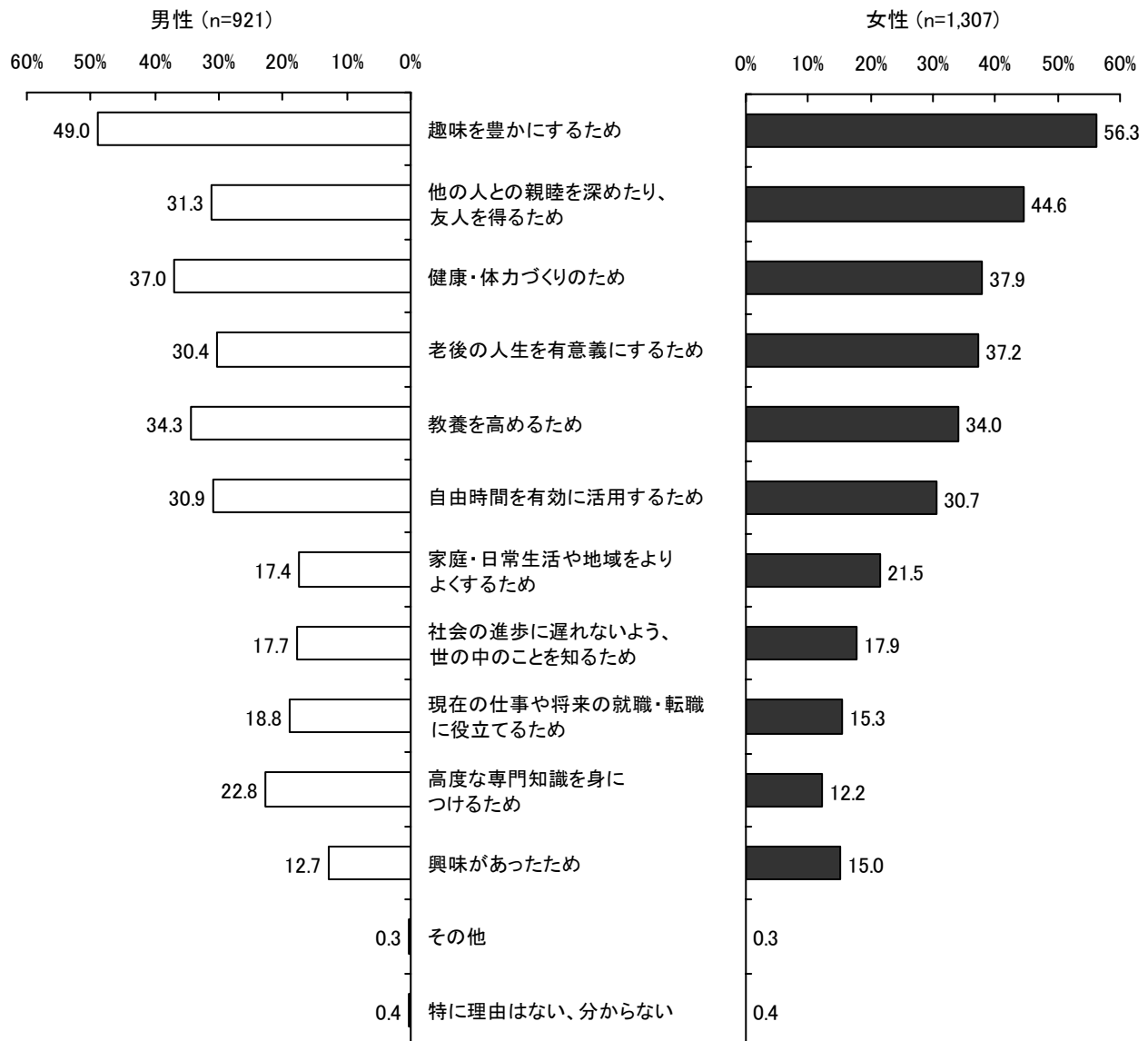
資料 : 内閣府「平成 19 年版 男女共同参画白書」
 総務省「科学技術研究調査報告」

Ⅲ 男女平等参画を推進する社会づくり

5 生涯学習

生涯学習してみたい理由をみると、男女とも「趣味を豊かにするため」が最も多い。女性の2位は「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」であるが、男性の2位は「健康・体力づくりのため」となっている。

図表 Ⅲ-1-5 生涯学習してみたい理由(複数回答)(全国)

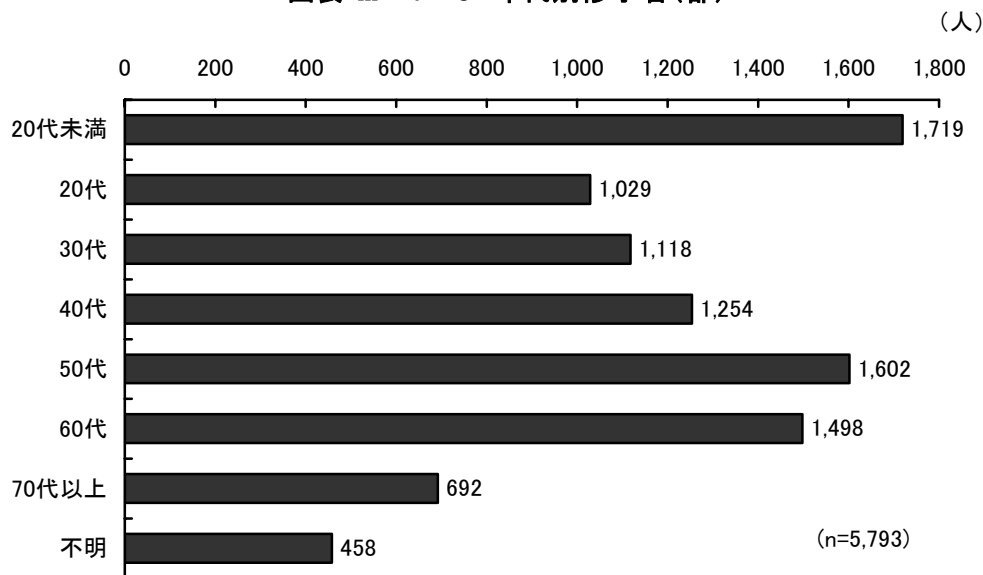


資料：内閣府「生涯学習に関する世論調査」平成17年

6 都立学校公開講座の実施状況

平成 17 年度の年代別修了者数は、20 代未満を除いて 50 代が 1,602 人と最も多く、次いで 60 代の 1,498 人となっている。
講座内容では芸術・文化系の講座が最も多い。応募倍率が最も高いのは I T 系の講座である。

図表 Ⅲ-1-6 年代別修了者(都)

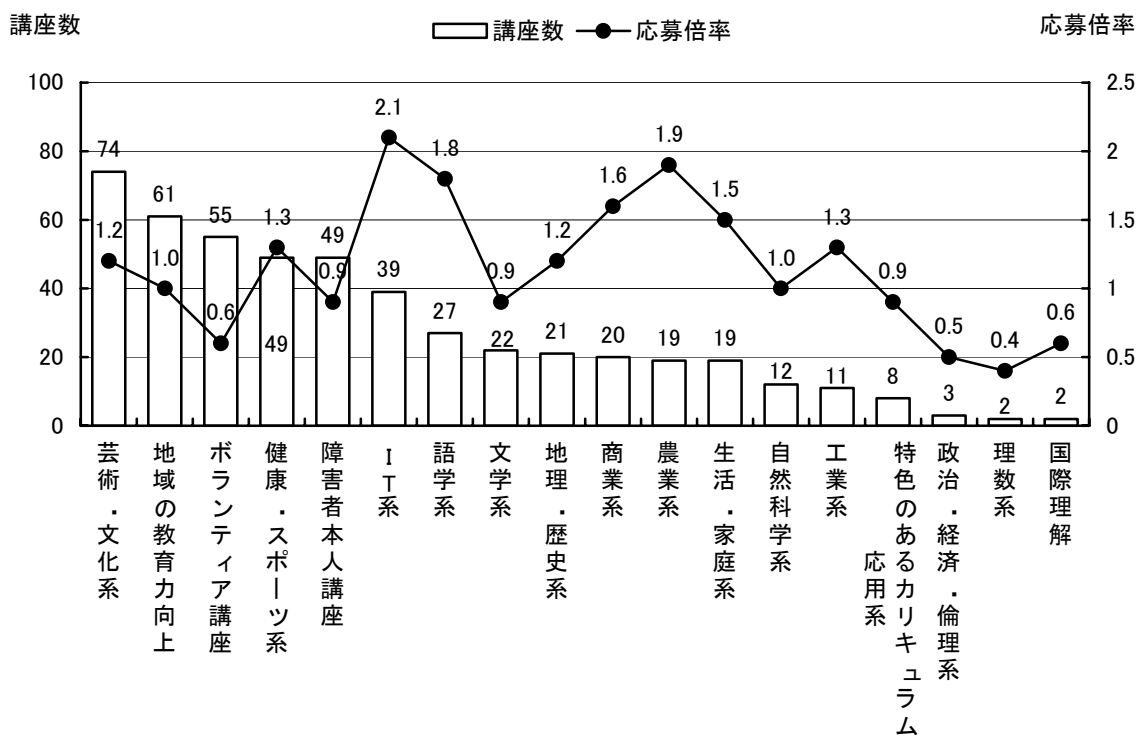


注 1：平成 17 年度の修了者

講座日程のおおむね 3 分の 2 以上出席した受講者を講座修了者としている。

注 2：20 歳未満の修了者は主に子どもや親子のための講座や高校生向けのボランティア講座等の参加者。

図表 Ⅲ-1-7 講座内容と応募倍率(都)



資料：東京都教育庁「平成 17 年度都立学校公開講座報告」